

FIDIC ニュース 2008 年 12 月号抄訳

訳責：国際活動委員会 IFI 分科会

脚注：この抄訳は IFI 分科会の若手サブメンバーの翻訳を分科会で監修したものです。

A. FIDIC の活動 (FIDIC - Activities)

A.1 FIDIC 会長が業界のリーダーシップを鼓舞 (FIDIC President called for industry leadership)

2008 年 11 月に中国で開催された中国コンサルティングエンジニア協会の会議において、FIDIC 会長 John Boyd は次のようにコメントしている。「世界の金融システムにおける最近の混乱は、我々すべてが如何に相互に関係し合ってきているか、また、我々の相互関係が世界中で行われている日々の活動を維持するうえでも如何に重要であるか、を示している。」Boyd 会長はまた、2008 年の Holcim 賞(訳注：Holcim 賞は持続性の面で優秀な世界の建築、都市開発、ランドスケープ、土木・機械工学の技術を表彰するもの)を受賞したプロジェクトの「土地利用図」にみられるとおり、中国における非常に重要な持続可能な地域開発では、厳格な規則が示されている。会議のテーマである「持続性」について「この受賞は、コンサルタントが技術的な問題に関する社会に信頼されたアドバイザーとして、リーダーシップを示し、社会の中で適切な役割を担ったものだ。このように、我々が積み重ねているトレーニングや経験が、我々にユニークな展望をもたらすと私は考えている。」と述べた。さらに、清潔な水や安全な輸送といった生活の質を向上させるためのインフラ整備の着手に、エンジニア達が恐らく最も重要な貢献をしたであろうことについて回想しながら、彼は次のように言った。「過去において我々はこのように重要な役割を担った。従って将来再び、我々はその牽引役を担う必要がある。」と。ブラジルで開催された世界工学団体連盟 (WFEO) の 2008 年世界エンジニアリング会議 (12 月 2 日～4 日; www.wec2008.org.br) での「持続可能な開発に関するフォーラム」では、他の重要な分野である気候変動問題におけるエンジニアの役割が脚光を浴びた。



A.2 「社会とのより深いかかわりを」FIDIC 総会講演者が呼びかけ (Plenary speakers urged greater involvement with society)

2008 年 FIDIC ケベック大会(www.fidic2008.org)の講演者たちは、コンサルティングエンジニアと国際融資機関との効果的な連携に対するさらなる支援体制の必要性について強く主張した。さらに、FIDIC とその会員企業は、社会的影響のある問題について発言することによって、社会の中でより重要な役割を担う必要があることを力説した。これに対し実際、業界は主要分野での対応を進めてきた。例えば、ビジネス公正管理システムや、その政府機関用のツールへの認識について発言することによって、率先して汚職防止に取り組んできた。その一環として「多くの腐敗した状況下で何が起きているのかを知っているにも関わらず何もしない人々がいるという事実」に直面している銀行の代表者たちとの汚職防止への取り組みに関する活発な議論も行われた。



また総会の基調講演者である John Ralston Saul (写真)は、「コンサルティングエンジニアにとって必要なことは、まず市民の立場にたつこと、その次にエンジニアとしての役割を担うこと、そして多く

の問題解決の最前線に立ってさらに社会と協働することである。」と強調した。先導的なジャーナリストかつ哲学者である彼は、これまでエンジニアが私たちの生活様式をいかに改善させてきたかに触れ、「清潔な水、安全な輸送手段、信頼性の高い通信、効率的なエネルギー利用など、地球規模の課題についてより適切な解決策を提供していくために、今エンジニアリングについて再考しなければならない時期にある。」と述べた。

B. ビジネス - 事業展開 (Business - Development)

B.1 日本の開発銀行が FIDIC 契約約款を承認 (Japanese development bank endorses FIDIC contracts)

FIDIC は 2008 年 8 月に、日本の国際協力銀行 (JBIC) がその業務契約に用いる標準入札書類に『FIDIC 建設工事の契約条件書 (1999 年初版 New Red Book) と国際融資機関版建設契約約款 (2006 年 MDB 版)』を適用するライセンス契約に調印した。これまで JBIC は、建設工事の契約条件書の前身である『FIDIC 土木建設標準契約約款第 4 版 (1987 年版 Red Book)』を標準入札書類の参考として利用していた。今回の合意は、FIDIC 建設工事の契約条件書がクライアント側設計による建設の世界標準となる契約約款であることを確かなものとした。

JBIC の国際金融部門は様々な分野の金融機関と統合され、2008 年 10 月 1 日に日本政策金融公庫 (JFC: the Japan Finance Corporation) が設立された。JFC の国際部門は JBIC 名の下で国際金融事業を行っている。一方、JBIC の海外経済協力事業部門は国際協力機構 (JICA) に統合され、新 JICA として技術協力、円借款、無償援助を一つの組織で管理できるようになった。その結果、日本の ODA におけるコンサルタント選定ガイドラインと、公共事業、設備、小規模業務およびコンサルタントの調達に用いる標準入札書類は、現在 www.jica.go.jp で閲覧できる。

【AJCE 事務局より】本文中で紹介されている契約約款は AJCE 事務局でも購入できません。ご注文およびお問い合わせは AJCE 事務局 (TEL : 03-3839-8471) まで。

B.2 若手専門職が重要な挑戦について幅広く認識 (Broad range of key challenges identified by young professionals)

コンサルティングエンジニアリング業界全体で熟練した人材が欠如しつつある中で、FIDIC2008 年大会に参加した若手専門職 (YPs) は、非常に興味深いテーマである「経営の継続」に関するセッションを担当した。Gayle Roberts (Stanley Consultants 社、アメリカ)、Liu Luobang (Halcrow Engineering 社、中国)、および Lee Wanjae (Dongsung 社、韓国) の 3 人による発表 (www.fidic2008.org) では、『我々の会社が世代を超えて成長していくことを確実にするために世界中のコンサルタント会社がどのように発展してきたのか』について、非常に貴重な洞察を示した。FIDIC の YPs は、若手専門職フォーラム (YPF) を組織している。YPF ではますます増加している各国 YPF 間の調整を議論し (YPF のウェブサイト FIDIC.org/ypf では、12 カ国でのフォーラムを掲載)、新しい運営委員を選出するための年次総会を開催している (現在の議長は Alex Eyquem (Faber Maunsel 社、イギリス、alex.eyquem@gmail.com))。最後に、FIDIC2008 年若手専門職経営実務研修プログラム (YPMTP) に参加したメンバーは、4 つの研修テーマについて「将来のリーダーワークショップ」で成果を報告し、研修課程を終了した。参加メンバーは、サービス展開 (プロジェクトのライフサイクルにおけるより大きな関わり)、グローバル化 (地域の影響を国際的な挑戦に変えるプロセス)、オフィスダイナミクス (文化の違いをうまく扱うこと) が若いスタッフにとって重要な鍵であると結論付けた。7 ヶ月間にわたって主にオンライン上で実施され、

2009 年 FIDIC ロンドン大会のワークショップで終了する『FIDIC 2009 YPMT』の定員は限られており、登録は 2008 年 12 月 30 日に締め切られる (FIDIC.org/ypmt 参照)。

【AJCE 事務局より】YPMT には日本からも毎年 1 名程度参加しています。プログラムの概要等の参加報告を、AJCE ホームページの FIDIC 大会報告に掲載しております。

http://www.ajce.or.jp/action/04fidic_report/fidic_report.htm

C. ビジネス - 実務 (Business - Practice)

C.1 重要分野におけるベストプラクティスが分析される (Best practice in several key areas analysed)

2008 年 FIDIC ケベック大会ではコンサルタント業界に関するいくつかの重要な課題が議論された (プレゼンテーション資料は www.fidic2008.org で入手可能)。メディアの役割に関するセッションでは、コミュニケーションに対する誠実な関心と、明確なメッセージの必要性が強調された。リスクマネジメントに関するセッションでは、不適切なリスクの移転がプロジェクトの品質に良くない影響を与えてきたが、優れたリスクマネジメントのモデルやツールがあるにも拘わらず、コンサルティングエンジニアリング産業は未だにクライアントに対してリスクを適切に管理することの重要性を理解してもらうことに苦労していることが示された。FIDIC の代表は、この問題についての相互理解を深めるために、保険業界およびクライアント側との協働をより一層緊密に進めて行く意図があることを示した。総会での主要な講演者である Ralston Saul 博士によれば、「コンサルタント業界は一步引き下がり、クライアントがより全体的な視野を持てるように手助けをすることが必要であり、その後一緒に適切なリスク分担を考えよ。」ということである。多くの FIDIC 会員協会が提供している権利擁護サービスに関するセッションでは、エンジニアリングのみならず、より一般的な問題についても関与するように要請があった。さもなければ、コンサルティングエンジニアが信頼できるアドバイザーとして認識されないだろうという観点からである。業界の目指すべきところとその行動を明確化することを目的とした最終の総括セッションでは、ビジネスに成功をもたらす職員の技術とソフトな技術の価値が強調された。たとえば FIDIC 契約約款の活用等の手順の標準化が、持続的な解決策の策定における品質確保と革新性の導入に対し、より一層の関心を引くために非常に重要であることが認識された。

D. ビジネス - 契約約款 (Business - Contracts)

D.1 契約約款の更新と下請け契約について、FIDIC 契約約款ユーザーズ会議で告知 (Contracts updates and a subcontract announced at users conference)

FIDIC の 1999 年版建設工事の契約条件書 (New-Red Book)、プラント及び設計施工の契約条件書 (New-Yellow Book)、および EPC/ターンキー工事の契約条件書 (Silver Book) は広く国際標準として認知されている。いくつかの重要な分野における最近の展開、特に、資金調達、法律、ビジネス実務、プロジェクト管理、リスク管理、損害賠償責任保険を反映させた今回の改定は、FIDIC の責務として不可欠なものである。FIDIC 契約約款委員会の議長を務める Axel Jeager は、2008 年国際 FIDIC 契約約款ユーザーズ会議 (ロンドン、12 月 2~4 日) にて、改定作業グループを設置し、メンバーから 1999 年版に対する意見を求めていることを報告した。彼は、すでいくつかの新しい概念については、2008 年 FIDIC ケベック大会で公表された『FIDIC 設計・施工・運営一括発注方式の契約条件書の初版 (DBO Gold Book 2008 年)』に組み込まれていることを指摘した (これは、2007 年のセミナー用暫定版に置き換わるもの

である)。updates@fidic.org 宛に送信または、直接提出された意見は、www.fidic.org/updates のディスカッションフォーラムに追加されている。『FIDIC 建設工事の契約条件書初版 (New Red Book、1999 年)』とともに使用されるもう一つの重要な文書『FIDIC 建設工事の下請契約条件書 (Red Book Subcontract 1994 年)』の見直し前の改訂案が、この会議で公表された。見直し過程は、FIDIC 下請契約約款作業グループと緊密に連携して作業を行った関係者全ての意見が出された後の 2009 年 2 月に開始される予定である。工事請負業者のための新しい標準事前資格審査書式が発刊された。これは「FIDIC 入札手順書」に替わる「FIDIC 調達手順書」の一部となる予定である。

E. 業界 - 代表性 (Industry - Representation)

E.1 南米大陸における国際的な代表性の再構築 (Reestablishing international representation in South America)

南米の多くの FIDIC 加盟協会は、1990 年代の南米大陸におけるインフラおよび建築業界再編にあって、FIDIC 会員として存続することが困難となった。FIDIC の専務理事である Enrico Vink と前会長である Jorge Diaz Padilla は、2008 年 12 月にエクアドルとチリを訪問し、どのようにしたらそこで FIDIC がうまく活用されるかを検討した。前会長 (写真左) はこの機会に、エクアドル公共事業大臣の Jorge Luis Gonzales Tamayo 博士に、FIDIC の公正管理文書を説明した。また、6 月中旬にサンティアゴにて FIDIC - コーナーストーン社契約約款ワークショップを開催する準備について、ACI - チリとの間で話し合いを持った。ここでは南米初開催で大成功を収めたサンパウロでのワークショップをさらに進めることを念頭においている。サンパウロでのワークショップには、ブラジルの多くの主要なコンサルタントおよび建設会社からの参加者があった。一方、FIDIC 理事会は、2009 年中頃に予定しているその会合を中南米アメリカコンサルティング・エンジニア連合 (FEPAC) の年次大会 (ブラジル、2009 年 5 月) に関連して開催することを決定し、FIDIC 会長の John Boyd は 12 月初旬にブラジリアで開催された世界エンジニアリング会議でこの件を表明した。



F. 業界 - イメージ (Industry - Image)

F.1 技術者がスイスを建設した (Engineers build Switzerland)

世界記録となる勾配 12% のローザンヌ全自動地下鉄新線 (写真参照) の様な事業の計画、設計、建設を、スイスの技術者がどのようにして支援したのかを説明する専用のウェブサイトが USIC - スイスによって立ち上げられた (www.les-ingenieurs-construisent-la-suisse.ch)。このウェブサイトは、多くのメディアから注目を集めるとともに、平均数分間持続するアクセスを 1 日約 1500 ヒットされるようになった。スイス国民は、技術者がどのようにしてこれらの極めて重要なインフラの供給に取り組んでいるのかを知ることに関心を持っている。設計チームへのインタビューによれば、社会的、経済的、技術的に関わらず、それぞれのプロジェクトはあらゆる観点からユニークな挑戦や奮起させる機会をもたらした。このスイス会員協会のウェブサイトは、近年、ヨーロッパに限らず何処でも、またあらゆる意味での技術者不足の状況下で、学生を技術分野に引きつけることを目的とした広範囲のプログラムに整合している。



G. 基本原則 - 能力 (Principles - Quality)

G.1 「能力に基づく選定」の改訂 (Quality Based Selection to be revisited)

能力に基づいたコンサルタントの選定 (QBS) は、コンサルティング産業の土台であり、持続可能なプロジェクトを実行するのに不可欠である。QBS では、最も能力がある会社が特定され、クライアントとコンサルタントの間で仕事の範囲を詳細に詰めた後にその業務範囲に基づく報酬を交渉する。米国では、QBS が正式な調達方法として広く採用されている。日本の場合について廣谷彰彦 AJCE 会長は、2008 年 FIDIC ケベック大会において次のように報告した (www.fidic2008.org/talks 参照)。「(1889 年の日本の会計法では価格競争による調達を求めてきたが、) 日本では 1999 年の QBS 促進のための政府委員会勧告、および 2005 年の品質確保法制定以来、QBS によって選定された国家調達によるコンサルタントサービスの報酬は 3 倍に増加し、今日では価格競争による調達を 20% 上回っている。現在の課題は、地方自治体に QBS を採用してもらうことである。」同じく Peter Steblin も 2008 年 FIDIC 大会で、「QBS を促進するためにカナダ自治体連盟と提携して開発した Infra guidelines はカナダの 70 以上の地方自治体によって承認された」事を参加者に思い起こさせた。彼によると、「QBS による調達の取り組みは、経費節約と倫理的な交渉方法にとってより望ましいことを示している」とのことであった。FIDIC は QBS の価値を示し続ける必要性を考えて、新たな取り組みを始めることを決定した。すなわち、コンサルタント選定のための国際標準規格として QBS を促進するために、1997 年 FIDIC 発行 (FIDIC ニュース原文では 1994 年発行と記載されているが、実際は 1997 年発行。事務局確認) の『能力に基づくコンサルタントの選定』を改版することにした。

【AJCE 事務局より】『能力に基づくコンサルタントの選定 1997 年版』を日本語版と英語版セットで販売しております(書籍コード:AD-23)。ご注文およびお問い合わせは AJCE 事務局(TEL:03-3839-8471)まで。

G.2 代表的なクライアントは質の高いサービスを要求 (Major industry clients call for quality services)

2008 年 FIDIC ケベック大会 (9 月 7 日 ~ 10 日) において、カナダ Hydro Quebec 社の Thierry Vandal 社長、カナダ Rio Tinto Alcan 社の Jean Simmon 社長、シンガポール公共事業庁の Young Joo Chye 部長、そして、アンマン市長の Omar Maani 閣下を含む代表的な産業界のクライアントたちは、質の高いサービスを要求した。その多くが社会を代表する彼らは皆、コンサルタントとの良いコミュニケーションの重要性およびコンサルティングエンジニアがクライアントのニーズを完全に理解することの必要性を支持した。FIDIC 会長 John Boyd が要約したように、我々の産業界は全体として、“その行動だけでなく、そのメッセージを通して、より大きな信頼を築く必要がある”。大会のウェブサイト “www.fidic2008.org” は発表資料や報告書、また、経営やビジネスツールの開発状況をまとめたニュースを提供している。

H. 基本原則 - 倫理 (Principles - Ethics)

H.1 需要・供給両サイドの汚職対策 (Initiatives address both supply and demand side corruption)

汚職が発展を脅かしているという広く行き渡った認識が、FIDIC と提携する組織によって、多くの重要な汚職防止施策を促進させている。FIDIC はビジネス公正管理システムの公表と普及活動によって先

導的な役割を果たしてきた。経済協力開発機構(OECD)は、その広範囲に亘るプログラムの一部として、『公共調達における公正性を高めるための新たな OECD 原則』を公表し、「国と業界は、政府機関との契約における不正行為と浪費をより厳重に取り締まらなければならない」と勧告した。OECD 加盟国は、この原則の実施進捗状況を 2011 年に報告する予定である。原則を実行に移すためのチェックリストは OECD のウェブサイト (<http://www.oecd.org>) から入手可能である。需要サイドの汚職については、2008 年アジア太平洋会議(シンガポール、11 月 26~28 日)での『アジア開発銀行(ADB) - OECD 汚職防止イニシアティブ』の焦点でもあった。そこでは政府の改革努力に関するデータベースのウェブサイトが公表された。一方、供給サイドでは、世界経済フォーラム(WEF)の『汚職に関する協イニシアティブ(PACI)』が、汚職と戦うための革新的なアイデアを一般市民が出せるように YouTube ビデオの利用を始めた。最良のアイデアは 2009 年の世界経済フォーラムで発表される予定である。PACI はまた、反汚職原則に署名した各国が、汚職防止プログラムを機能させているかどうかを証明する自己評価(www.weforum.org/paci/ha)に現在着手した。世界工学団体連盟(WFE0)の 2008 年世界技術者会議(ブラジル、12 月 2~4 日、www.wec2008.org.br)の目玉は、建設プロジェクトで直面した困難な倫理的決断を扱った 40 分の映画『Ethicana』であった(『Ethicana』予告編参照)。最後に、国連グローバル・コンパクトは、調達過程で生じる誘惑に関係のある 21 のシナリオで構成される『国際商取引における強要と誘惑への抵抗』パート 1 を公表した。とりわけ FIDIC が、教材として数多くの贈収賄・汚職シナリオの詳細(www.fidic.org/integrity 参照)を保有しているとすれば、多分この教材は建築とインフラ整備分野からの適切なインプットに欠けている。

1. 基本原則 - 持続性 (Principles - Sustainability)

1.1 認証システム調整のための持続可能な建築連盟 (Sustainable Building Alliance to align certification systems)

フランスおよびイギリスのグリーン建築物認証委員会は、中核となる建築物評価システムの構築について共同開発することを目的として、2008 年 4 月、持続可能な建築連盟(Sustainable Building Alliance (SBA; www.sballiance.org))を設立した。2009 年の早い時期には SBA メンバーを代表してイギリス、フランス、ドイツ、ブラジルの認証委員会の代表者からなるワーキンググループによって中核的な一連の指標が提案されることが、2008 年 9 月に合意されていた。この連盟は、すべての認証スキームの整合性確保と相互認証普及のために最低限の共通基準および共通指標の開発を目的としている。これにより、各国間で建築物の持続性性能を比較することができる。連盟を構成するあるパートナーのスキームの下で認証された建築物が別のスキームの必要条件を満たすことを連盟が認めるかどうかは、今のところ分からない。コアとなる指標の重要な要素は、地域性に適応できることである。それはプロジェクトを評価する基本指針を提供する FIDIC のプロジェクト持続性管理システム (PSM: Project Sustainability Management System) の特性でもある。建築物認証における PSM の導入は、オランダの Ike van der Putte によって始められた試みのひとつである。2008 年 FIDIC ケベック大会で FIDIC の PSM と環境管理システム (EMS: Environmental Management Systems) 特にこれらの研修への貢献に対する FIDIC Prangey 賞受賞の発表は、彼にとって全く不意のことで、彼を大変驚かせた。実際に、その EMS と PSM の研修による膨大な経験に基づいて創られ、PSM と評価スキームをカバーした FIDIC - 持続可能な既開発地域国際イニシアティブ(iiSBE: International Initiative for Sustainable Built Environment)の「持続可能な建設研修プログラム (Sustainable Construction Training Programme)」が FIDIC と iiSBE に

よって発表されようとしている (SBA と国連の持続可能な建築とインフラ建設イニシアティブ (www.unepbsci.org) による承認を求めている)。

J. お知らせ - 行事 (Announcements - Events)

J.1 FIDIC 会議および国際研修プログラム (FIDIC Conferences and International Training Programme)

FIDIC - UACE 集中コース (契約約款) カンパラ、2009 年 1 月 19 - 20 日
 FIDIC - UACE 集中コース (クレーム) カンパラ、2009 年 1 月 21 - 22 日
 FIDIC 集中コース (経営) カタール、2009 年 1 月 27 - 29 日
 FIDIC 集中コース (役務契約条件書) カタール、2009 年 2 月 10 - 12 日
 FIDIC - CEAI セミナー (クレーム) ニューデリー、2009 年 2 月 16 - 17 日
 FIDIC - ECV 社トレーニングコース (契約約款) ドバイ、2009 年 2 月 23 - 24 日
 FIDIC - ASPAC アジア太平洋地域会議、カトマンズ、2009 年 3 月 10 - 13 日
 FIDIC - GAMA アフリカ地域会議、ダーバン、2009 年 3 月 15 - 18 日
 FIDIC 集中コース (紛争裁定委員会) ホーチミン市、2009 年 3 月 25 - 26 日
 FIDIC - コーナーストーン社ワークショップ (契約約款) パリ、2009 年 3 月
 FIDIC - ECV 社トレーニングコース (契約約款) ウィーン、2009 年 3 月 26 - 27 日
 FIDIC - ECV 社トレーニングコース (クレーム) アブダビ、2009 年 4 月 20 - 21 日
 FIDIC - コーナーストーン社ワークショップ (クレーム) ドバイ、2009 年 4 月
 FIDIC - コーナーストーン社ワークショップ (契約約款) ヨハネスブルグ、2009 年 6 月

K. お知らせ - 報告 (Announcements - Notices)

K.1 総会報告 (General Assembly decisions)

米国 Stanley Consultants 社の会長兼最高経営責任者である Gregs Thomopoulos が 2008 年 FIDIC ケベック大会の 2008 年総会で FIDIC の次期会長に選出された。また、オーストリア Gobiet and Partner 社の Andreas Gobiet (写真参照) が FIDIC 理事として選任された。さらに、総会の議長を務めた FIDIC 会長の John Boyd は、理事の任期を満了したデンマークの Flemming Bligaard Pedersen の後任として、ニュージーランド Dunning Thornton Consultants 社の Adam Thornton が FIDIC の財務責任者に任命されたことを発表した。また、2007 年の FIDIC の財政は 29.8 万スイスフラン (SFR) の黒字であり、2008 年の執行見込み 246 万 SFR から 2009 年予算は 258 万 SFR に増加することを報告した。この黒字は FIDIC 書籍販売の記録的な増加とライセンスおよび研修セミナーからの大幅な収入増加によるものであり、スタッフ不足のため書類再版への投資計画が実施できなかった結果である。2012 年 FIDIC 大会の開催地として韓国のソウルが、主催協会として KENCA が、ともに承認された。



K.2 理事会報告 (Executive Committee decisions)

2008 年の総会では、準会員として理事会から推薦のあったウクライナとウズベキスタンを承認した。「準会員」という新しい会員資格区分は、自国でコンサルティングエンジニアリング産業を発展させようとする創設まもない組織を認知し、支援する目的で 2007 年に合意された。また、アルバニアが準会

員として残ることについても合意した。5つの新規協賛会員：Les Contracteurs(フランス)、Implenia(スイス)、Robert McLean(カナダ)、Dr Siddiqui(UAE)、Saba Engineering(エチオピア)も承認された。

2008年FIDICケベック大会の直前の理事会ミーティングでは、「会員協会会費を算出するための単価の変更はしないが、各会員協会内の会員数を報告しない協会に対しては、その数を10%増と見なす」ことが合意された。研修教材の開発といくつかの選ばれた会員協会がFIDICの国際研修プログラムのトレーナーを供給できるようにするために、その国のトレーナーを養成することを支援する計画を開始することも合意された。養成されたトレーナーは、国内で実施する研修プログラムの水準をFIDICの水準に維持する橋渡しとして機能するであろう。その外の理事会決定事項は、FIDICから発信するメッセージの作成を任せるコミュニケーション監視グループの設立と、新任のFIDIC出納長Adam Thorntonに議長を務めさせてFIDICの会費と投票権についての基準を見直す会費作業部会の設立に関するものであった。

【AJCE事務局より】AJCEとウズベキスタン協会は、共にアジア地域に属する協会として、両国が直面する問題に共同で取り組み、相互の利益を促進させることを目的とした覚書を締結する予定です。両協会の取り組みについては、AJCEホームページや会報で随時報告していきます。

以上